NIE実践報告

１．タイトル：HAPPY NOTEで論理的思考力を養成しよう

２．学校名

宮崎第一中学校

３．実践者名（代表者名）

池間　恵美子

４．学年

全学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

学級活動

６．単元（本時の学習課題）名

７．目標（狙い）

論理的思考力・表現力・語彙力を養うと共に新聞記事から時事問題について興味関心を持たせ、自分なりの意見を持ち、意見交換ができる生徒の育成

８．評価の視点

１年生：毎日、担任が各学級のHAPPY NOTEの添削指導にあたり、正しい文章表現がなされているかを見る
２年生：ジャンルごとに班分けし、グループでノートを交換し、それぞれ友達の意見にコメント贈り、お互い

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

毎日の自宅学習課題として翌日担任に提出する

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１年生は同じジャンルになりがちで、表現も「すごい」を連発。記事に対して、興味関心を抱けなかった場合は、「微妙」という表現をしがちである。そのような表現をした場合、他の語彙はないかを検討させること。
２年生は感想文になりがちな文章を意見文として表現する方法を身に着けさせること。
３年生は意見交換したり、さらに語彙を増やすよう、新聞のニュースを比較検討できるようにすること。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

保護者までもが興味を持ち、子供と一緒に記事について考えるようになった。
他の生徒の文章を読むことで、別の表現方法もあることに気づいて良かった。

12．成果と課題

新聞記事に対して、強い関心を持って読むようになった。
文章表現に対して、単純に表現しようとせず、いかにして、読者を惹きつけるかということを考えながら書くようになった。興味関心の高い生徒の伸びがかなり見られた。
しかし、やはり取り上げる記事に偏りが見られたことと、学級担任の負担が大きかったことから、クラス間に温度差が現れた。